※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編 現代の国語　（大修館書店）						
副教材等	漢字ボックス（浜島書店） カラー版新国語便覧（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人として必要となる国語力を身に付けましょう。
・様々な文章を読み、構成や論理について学びを深め、論理的な思考力や判断力、表現力を身につけましょう。
・コミュニケーション力向上のため「読む能力」や自分の考えを正確にわかりやすく伝えるための「書く能力」を身に付けましょう。授業中のノートはただ写すのではなく、自分の意見や他者の意見、疑問点を自ら調べてメモしましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	評論 ［教材］ 「変わる」ことを楽しもう コミュニケーションは技術だ	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 例示などの修辞を理解する。 b[読]:筆者の提主張について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 c:粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	評論 ［教材］ オカピの胃袋はいくつか 水の東西	a:常用漢字を文や文章の中で活用し、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 b[書]:対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫し、自分の意見や考えを論述する。 c:具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
2	評論 ［教材］ 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか ナンバーワンか、オンリーワンか	a:主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c:情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	評論 ［教材］ 情報の力関係 どこもかしこもプラスチック！	a:常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b[読]:内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 c:例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

3	表現 ［教材］ 対話のレッスン 意見文の基礎を学ぼう	a:話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 b[話/聞]:相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 c:積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題に沿って使おうとしている。 極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 発表
	表現 ［教材］ 魅力的な企画書を書こう プレゼンテーションをしよう	ｂ[話/聞]：情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明する企画書の書き方やプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 効果的なスライドの作り方を理解する。 話し合いの進め方のルールを理解し、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 c:今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に企画書作成やプレゼンテーションを行おうとしている。 協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート 発表

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間